

中国はいま何を考えているか

日中関係〇五年危機の反省

(講演要旨)

毛沢東思想

せよと言つてゐる。

「大地主と中小地主を区別」「国民党にも良・悪がある」などと論じている。

経済を見ると、日本の対中貿易は2004年には一位に、1998年の対米貿易・三分

ナショナリズムとの
関係

闘いという問題

日中双方はナショナリズムがあり、これとのたたかいはたいへんむつかしい。六〇年安保闘争はナショナリストを

の病理現象みたいなもの。中國人は自分の将来は「がんばれば何とかなる」経済成長段階。しかし日本人は未来に展望をもてない状況にある。

味方にして、アメリカの強引なやり方とたたかつた。今回はナショナリズムをマスコミがあおつた。マスコミは読みたい記事、観たい映像、国民が気に入るテーマで、悪いやつをみつけて採り上げる一種

的な対応をして、現在の力闘
係から平和五原則に反する発
言をしている。イラク戦争で
は、フランスは拒否権を。し
かし、中国は言うべきことを
言つていない。だから若者は
大国中国として、もっと発言

安全面では空気の薄い高原を走りますから、そのつど『酸素濃度を徐々に薄く』しながら運行しますが、平地のような酸素濃度ではありません。そんな事をすれば現地到着時には高山病にかかります。当然徐々に薄く慣れしながらの運行です。

さらに現地に到着すると、日焼け止めやサングラスは目を守るために必需品です。

酸素の必要な場合に備えて、座席下などに酸素吸引装置も設置されています。そして高度が上がるほど空気が薄くなり強い紫外線が降り注ぎますから、その対策として列車の窓はペアガラスで、紫外線対策と気温変化の対応をかねて二重にして有ります。

高山病・紫外線
酸素吸引装置

高山病・紫外線対策に 酸素吸引装置と窓にペアガラス

めのようです。健康な人でも大変厳しい環境なのです。

太極拳教室案内

府連教室

なんば府立体育館など
月曜日午後六時三〇分
開講中

西支部教室

開講中

（文責・編集部）

守口東部教室・東部公民館
土曜日・午後一時から
富田林教室 開講中
ケアセンター「けあぱる」
水曜日午後六時三〇分から